STUDYing

令和６年度 中小企業診断士第１次試験

# C 企業経営理論

**【総評】**
令和６年度の本試験は、企業経営理論 41 問（昨年 41 問、設問ベース）のうち、経営戦略論が 13 問（昨年 13 問）、組織論が 14 問（昨年 14 問）、マーケティング論が 14 問（昨年 14 問）であり、例年とおりの出題構成となりました。
また、５肢択一の問題は、経営戦略論が９問（昨年８問）、組織論が７問（昨年 10 問）、マーケティング論が８問（昨年６問）であり、こちらも例年とおりとなりました。

**・当年の難易度**
　経営戦略論、組織論、マーケティング論ともに、例年と同様に過去に出題されたテーマもありつつ、新しいテーマの出題もありました。そのため、全体としては、標準レベルの難易度になったと思われます。
　合格点を確保するには、基本的な知識で解くことが可能な問題を取りこぼさないように確実に解答することが求められます。特に、近年何度か出題されているテーマについては対応できるようにしておきたいところです。新しい問題については、問題文や選択肢の記述から、解答の候補となる選択肢を絞り込んでいけるかがポイントになったと言えます。

**・新傾向や特筆すべき出題**
（経営戦略論）
経営戦略論では、比較的出題頻度が高い PPM（第４問）、M＆A（第５問）、５フォース分析（第７問）が例年同様出題されました。特に第５問の M＆A は確実に得点したい問題です。また、第 10 問（製品アーキテクチャ）も得点しておきたい問題でした。
新たな問題としては、第１問（創発的戦略）、第２問（見えざる資産）、第９問（イノベーションの A-U モデル）が出題されていました。
また、第 13 問では、近年出題されているエフェクチュエーションについて、今年度も出題されました。

（組織論）
組織論では、比較的出題頻度が高いコンフリクト（第 20 問）、組織学習（第 22 問）、組織のライフサイクル仮説（第 23 問）、労働契約（第 24 問）が出題されました。この中で第 22 問、第 23 問、第 24 問は確実に得点したい問題です。また、第 27 問（就業規則）も得点しておきたい問題でした。
一方で、第 14 問（組織デザイン）、第 18 問（ERG 理論）は近年出題されていない問題でした。
また、第 24 問から第 27 問が労働関連法規に関する問題では、例年と同様に細かい論

©2024 KIYO Learning Co., Ltd. All Rights Reserved.
（無断転載・無断複製を禁じます）

点が問われている選択肢も見受けられました。

（マーケティング論）
マーケティング論では、比較的出題頻度が高いブランドマネジメント（第 28 問）、価格設定（第 37 問）、マーケテイングリサーチ（第 39 問）が出題されました。また、ソーシャル・マーケティング（第 29 問）、マーケティング・コミュニケーション（第 33 問）も近年出題されたテーマです。この中で第 28 問、第 37 問は確実に得点したい問題です。また、第 31 問（BtoB マーケテイング）、第 34 問（パブリック・リレーションズ）も得点しておきたい問題でした。一方で、第 33 問（マーケティング・コミュニケーション）は、どれが最も適切な選択肢として挙げるか悩む問題でした。
令和 5 年度試験での選択肢には出題されていましたが、カスタマー・ジャーニー（第 30 問）が比較的新しいテーマとして出題されていました。
また、第 40 問では、ジョハリの窓とリサーチ手法を組み合わせた問題となっており、対応がやや難しかった問題と言えるでしょう。

**【的中！合格模試】**
経営戦略論の第 13 問（エフェクチュエーション）、組織論の第 22 問（組織学習）、第 23 問（組織のライフサイクル仮説）、マーケティング論の第 37 問（価格設定）は、合格模試で出題された論点でした。STUDYing 受講生においては確実に得点しておきたい問題です。

以上

©2024 KIYO Learning Co., Ltd. All Rights Reserved.
（無断転載・無断複製を禁じます）